

R3年度 国見小学校 通学路対策箇所図①

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・防犯担当部署(区民)
- ・警察署交通課(警・交)
- ・警察署生活安全課(警・生)



(国見小2)
歩道が斜めになっているため、急ぎ足や走ってくる児童が止まれず車道に飛び出しそうになる。冬場は凍っていると滑って転ぶ児童が多発する。
＜対策内容＞
・児童への交通安全指導(学)
・横断歩道の上側に車線分離標設置(道)

(国見小3)
押しボタン式の信号機で、ボタンを押すとすぐに切り替わるため、車や自転車が急ブレーキで止まったり、接触事故を起こしやすい。
＜対策内容＞
・児童への交通安全指導(学)

(国見小1)
歩道沿いの生垣が高く、車道から子供が歩いている姿が見えず、冬の期間薄暗くて何かあっても分からない。
＜対策内容＞
・生垣の刈込作業の実施(公園課)

- : 通学路
- : 交通対策箇所
- : 防犯対策箇所

R3年度 国見小学校 通学路対策箇所図②

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・防犯担当部署(区民)
- ・警察署交通課(警・交)
- ・警察署生活安全課(警・生)



(国見小4)
 車道と歩道との距離が細くなっており、互いに譲り合わないと通れない。また、暗くなるとガードレール下に人がいても気づきにくい。
 <対策内容>
 ・外側線内側への破線設置に併せて外側線及びゼブラの塗り直し(道)

(国見小5)
 見通しが悪く、前方から車や人が来ても分かりにくい。信号機はあるが、車の出入りが多く、交差点を渡る際など注意が必要である。
 <対策内容>
 ・「歩行者注意」の路面標示設置(道)
 ・センターラインの塗り直し(道)

- : 通学路
- : 交通対策箇所